

【2020 福祉の名立づくりフェスタ～若者会議～】

今年度、名立区ではこれからの地域主体の地域福祉の具体的な取り組みに関する「名立区地域福祉活動計画アクションプラン」と当会が主管する「名立区住民による名立区民のためのまちづくり」に関する「名立まちづくり計画」の二つの計画の策定が同時並行的に進められています。

二つの計画の策定にあたってはそれぞれの委員会や懇談会での検討に加え、前頁のアンケートなど、



できるだけ多くのみなさんの声をお聴きしていくことが大切であり、特にこれからのまちづくりの主体、担い手となるべき若い世代の声を反映することが欠かせないと考え、名立区住民福祉会主催の「福祉の名立づくりフェスタ」の開催に併せ、中学・高校生や20～40歳代の約50名からお集まりいただき、11月1日(日)に「若者会議」を実施しました。

当日は、上越市創造行政研究所副所長の内海巖様を講師にお招きし、「人口からみた名立のこれまでとこれから」と題してご講演(左写真)



(左)中学生 (右) 高校生

いただいた後、6つのグループに分かれて「どんな名立に暮らしたいか」「どんな名立なら《頑張るシナリオ》が描けるか」についてグループワークを実施しました。

グループごとの発表では、全体を通じて「雇用の確保」や「商店の充実」「福祉・医療の整備」など、生活環境の充実を求める意見が多くありましたが、「若者向けのイベントを増やす」や「高校生が気軽に集まれるオシャレなカフェ」「最先端のネット環境の整備」など、“若者”の視点での発言も多く聴くことができました。

グループごとの発表では、全体を



若者グループ



意見発表

昨年度策定した名立区地域福祉活動計画でまとめた「福祉のまちづくり」に向けた想いは『一人ひとりが支え合い、誰もが安心して暮らせる福祉のまち・名立』でしたが、今年検討されている名立まちづくり計画ではどんな将来像が描かれるのでしょうか？

ご講演いただいた内海さんからは、「まちづくりを考えると、まずは楽しい未来を想像してみる」こと、そして「想像力が創造力につながる！」と私たちにエールを送っていただきました。

アンケートや若者会議に寄せられた多くの思い(想い)をどのような形に創造していくのか…、一人ひとりが思い描く楽しい未来像を大切にしながら、明日の名立をみんなで創造していきましょう。

2020.No7

【編集・発行】名立まちづくり協議会 会長 三浦 元二

上越市名立区名立大町 200-1(名立地区公民館内)

担当:金子 僚子、石井 三千代

☎:025-537-2182 FAX:025-546-7041 ✉:matikyo-nadati@bz04.plala.or.jp



名立まちづくり協議会 会報 まち協だより



2020.11.11 国府もみじ園にて撮影

【敬老お祝い品をお届けしました】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、毎年実施している名立区敬老会が中止になりましたが、75歳以上の627名のみなさまのご長寿を祝い、お祝品として、タオル・祝菓子・赤飯をトートバックに詰めて贈呈させて

いただきました。タオルには、宝田小学校5年生・6年生のみなさんから素敵な絵と、おじいちゃん・おばあちゃんへの心温まるメッセージが綴られた作品をのし紙としてつけさせていただきました。10月16日(金)に名立ひなさき(28名)と名立園(34名)にお伺いし入居者の

代表の方にお届けしました。南部地区・北部地区のみなさま

には、敬老祝賀会を予定していた10月18日(日)とその前日17日(土)の2日間に分けて、4地区振興会役員の方々からご協力いただき、ご自宅までお配りいただきました。

ご協力いただいた関係者のみなさまには心からお礼申し上げます。

宝田小5、6年生成成の温かい思いにあふれた絵とメッセージが綴られたのし紙



山海クラブ(輪投げクラブ)のみなさん



東蒲生田・安達行二さん



東飛山・沢田元次さん



峠・室橋勇吉さん、サチ子さんご夫妻



名立園



名立ひなさき

みなさまにはこれからもいつまでもお元気でお過ごしください!

そして、これからも私たちに名立のことをいろいろ教えてください。



お祝品



宝田小5、6年生成成の温かい思いにあふれた絵とメッセージが綴られたのし紙



17日(土)準備の様子(北部地区振興会)